
Magician's magic word

翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

M a g i c i a n ' s m a g i c w o r d

【Nコード】

N O 1 4 6 M

【作者名】

翠

【あらすじ】

【キッド 蘭】「探偵たちの鎮魂歌」でのキッドの想い。

1、2、3……。

One、Two、Three……。

何度唱えたかわからない。

幾度耳にしたかわからない。

いつも、この呪文のあとには素晴らしい驚きが待っている。

つい最近では、誕生日に心地よい声でこの呪文を聞き、そのあとには最高の驚きが待っていた。

彼にとって、1、2、3のカウントアップは始まりの呪文。
希望と少しの不安、驚き、発見、未来へと続く……。

では、カウントダウンは？

3、2、1……。

Three、Two、One……Zero……。

それは、終焉へと向かう呪文。

忌まわしい記憶と共に、彼の心を今なお傷つける……。

「だが、それは今日までです」

閉園時間の過ぎた遊園地の、ひとときわ高い建物の上。月に愛されているかのようにその光を一身に集める白い影があった。

月下の奇術師とも呼ばれる彼は、盗聴器から聞こえてくる声に、甘く優しく、そして残酷な少女の無邪気な笑顔が浮かび、自然と口角を上げる。

「守ってみせましょう。貴方のその笑顔を。貴方の思いと共に」

彼は、すつと右手を広げると優雅に一礼をした。

そして、真っ白なシルクハットを目深にかぶり直すと、眼下のジエットコースターを鋭い目で見つめる。

「そして……変えてみせましょう。カウントダウンをカウントアップに。終わりではなく、希望に満ち溢れた、始まりに！」

そう言つと、彼は目を瞑り、眠るように身体を傾けた。

One .

月の光と風に包まれた白い身体は、加速度を増し、深い闇に落ちていく。

Two .

風や音、死への恐怖が彼の中を駆け抜けていく。

Three .

しばし重力に身をゆだねるだけだった彼は、目を開けると、白い
ハンググライダーの翼を闇色の空に広げ飛び立った。

彼の希望の光を、闇へと導くカウントダウンを告げる、赤く鈍い
光を目指して……。

（後書き）

2008年12月3日、奇術の日記念の作品。

快蘭ファンとしては「探偵たちの鎮魂歌」にてキッドが助けに来たのはやっぱり蘭を救いたいからだよねーと妄想してしまうものなのです（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0146m/>

Magician's magic word

2010年10月10日01時03分発行